

国語 科 1 年 現代の国語 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	現代の国語	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	精選現代の国語			出版社	東京書籍
副教材	「精選現代の国語 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「品詞別 頻出漢字マスター3000」(尚文出版), 「ニューフェイズ現代文1」(第一学習社)				

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
- ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、試行錯誤して粘り強い取り組みを行おうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	●ガイダンス ●予習復習体験学習 【基礎学力 到達度テスト】	・高校での学習や目標について理解する。 ・現代文の予習復習について具体的に学習する。 ・「届く言葉」の予習をする。			○	2
	①自己と他者 「届く言葉」	・相手に「届く言葉」とそうでない言葉の違いについて、対比的に書かれた評論を読み取ることができる。	○	○	○	4
	参照：「評論の読み方」 (p18～21)	・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。		○	○	1
	5月連休課題				○	
5	参照：「分かりやすい説明をする」(p22～28)	・目的や相手に合った分かりやすい説明の仕方を理解する。		○	○	1
	【1学期中間考査】 「届く言葉」					1
	②認識を深める 「水の東西」	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	○	○	○	5
	参照：「発想を広げて課題を見つける」(p57～64)	・発想を広げてアイデアを整理し、的確に伝える方法を知る。				
6	③言葉と社会 「言葉は世界を切り分ける」	・「他言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持って言語生活を豊かにする。	○	○	○	6
	参照：「本を紹介する」 (p104～107)	・図書館の利用の仕方を学ぶ。 ・話の構成や、紹介の仕方を工夫して話す。 【言語活動】		○	○	1
	【1学期期末考査】 「水の東西」，「言葉は世界を切り分ける」					1
7	夏期休暇課題				○	
	【スタディーサポート】					1
8						

9	②認識を深める 「今ここにある無数の未知」	<ul style="list-style-type: none"> ・辺境を旅した体験に基づく、筆者の「旅」についての主張を的確に読み取ることができる。 ・筆者が考えたことを理解し、表現に託された意味を捉え、自己との関係の中で、世界についての考えを深める。 	○	○	○	5
10	④共に生きる 「真の自立とは」	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立」の在り方について考察する評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 	○	○	○	6
【2学期中間考査】 「今ここにある無数の未知」, 「真の自立とは」						1
11	⑤世界を広げる 「『無駄』と進化」	<ul style="list-style-type: none"> ・事例に即して内容を正確に読み取り、遺伝システムにおける変異の意義を理解する。 	○	○	○	6
	④共に生きる 「共鳴し引き出される力」	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介されている体験談を踏まえて、「能力」に関する筆者の考えを読み取る。 ・筆者の捉える「能力」について理解を深める。 	○	○	○	6
	参照:「文章を読み比べるために」(p136~138)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の読み比べ方を学び、比較する方法を理解する。 		○	○	1
12	【2学期期末】 「『無駄』と進化」, 「共鳴し引き出される力」					1
冬期休暇課題					○	
1	附録1 「ものと記号」	<ul style="list-style-type: none"> ・記号が持つ性質を理解し、人間の文化的な営みの在り方について考えを深める。 	○	○	○	7
2	⑤世界を広げる 「白」	<ul style="list-style-type: none"> ・「白」に表される、情報に対する意識についての筆者の考えを、独自の表現に注意して読み取る。 ・「新たな知の基準」に対する自分の考えをまとめることができる。 	○	○	○	7
	参照:「思考への扉」 ³ — 一人間の境界 (p178)	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の言う「白という感受性」とインターネット時代の感受性を比較し、意見文を書く。【言語活動】 ・書かれている内容を理解し、「白」を読み深める。 		○	○	1
3	【3学期期末考査】 「ものと記号」, 「白」					1
春期休暇課題					○	

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語科 1年 現代の国語 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	現代の国語	対象	進学	コース	単位数 2 単位
教科書	精選現代の国語			出版社	東京書籍
副教材	「精選現代の国語 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「品詞別 頻出漢字マスター3000」(尚文出版), 「ニューフェイズ現代文1」(第一学習社)				

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
- ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、試行錯誤して粘り強い取り組みを行おうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	●ガイダンス ●予習復習体験学習 【基礎学力 到達度テスト】	・高校での学習や目標について理解する。 ・現代文の予習復習について具体的に学習する。 ・「届く言葉」の予習をする。			○	2
	①自己と他者 「届く言葉」	・相手に「届く言葉」とそうでない言葉の違いについて、 対比的に書かれた評論を読み取ることができる。	○	○	○	4
	参照：「評論の読み方」 (p18～21)	・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。		○	○	1
	5月連休課題				○	
5	参照：「分かりやすい説明 をする」(p22～28)	・目的や相手に合った分かりやすい説明の仕方を理解する。		○	○	1
	【1学期中間考査】 「届く言葉」					1
	②認識を深める 「水の東西」	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	○	○	○	5
	参照：「発想を広げて課題 を見つける」(p57～64)	・発想を広げてアイデアを整理し、的確に伝える方法を知る。				
6	③言葉と社会 「言葉は世界を切り分ける」	・「他言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持って言語生活を豊かにする。	○	○	○	6
	参照：「本を紹介する」 (p104～107)	・図書館の利用の仕方を学ぶ。 ・話の構成や、紹介の仕方を工夫して話す。 【言語活動】		○	○	1
	【1学期期末考査】 「水の東西」 ， 「言葉は世界を切り分ける」					1
7	夏期休暇課題				○	
	【スタディーサポート】					1
8						

9	②認識を深める 「今ここにある無数の未知」	<ul style="list-style-type: none"> ・辺境を旅した体験に基づく、筆者の「旅」についての主張を的確に読み取ることができる。 ・筆者が考えたことを理解し、表現に託された意味を捉え、自己との関係の中で、世界についての考えを深める。 	○	○	○	5
10	④共に生きる 「真の自立とは」	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立」の在り方について考察する評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 	○	○	○	6
【2学期中間考査】 「今ここにある無数の未知」, 「真の自立とは」						1
11	⑤世界を広げる 「『無駄』と進化」	<ul style="list-style-type: none"> ・事例に即して内容を正確に読み取り、遺伝システムにおける変異の意義を理解する。 	○	○	○	6
	④共に生きる 「共鳴し引き出される力」	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介されている体験談を踏まえて、「能力」に関する筆者の考えを読み取る。 ・筆者の捉える「能力」について理解を深める。 	○	○	○	6
	参照:「文章を読み比べるために」(p136~138)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の読み比べ方を学び、比較する方法を理解する。 		○	○	1
12	【2学期期末】 「『無駄』と進化」, 「共鳴し引き出される力」					1
冬期休暇課題					○	
1	附録1 「ものと記号」	<ul style="list-style-type: none"> ・記号が持つ性質を理解し、人間の文化的な営みの在り方について考えを深める。 	○	○	○	7
2	⑤世界を広げる 「白」	<ul style="list-style-type: none"> ・「白」に表される、情報に対する意識についての筆者の考えを、独自の表現に注意して読み取る。 ・「新たな知の基準」に対する自分の考えをまとめることができる。 	○	○	○	7
	参照:「思考への扉」 ³ — 一人間の境界」(p178)	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の言う「白という感受性」とインターネット時代の感受性を比較し、意見文を書く。【言語活動】 ・書かれている内容を理解し、「白」を読み深める。 		○	○	1
3	【3学期期末考査】 「ものと記号」, 「白」					1
春期休暇課題					○	

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語科 1年 現代の国語 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	現代の国語	対象	特進	コース	単位数 2 単位
教科書	精選現代の国語			出版社	東京書籍
副教材	「精選現代の国語 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「品詞別 頻出漢字マスター3000」(尚文出版), 「基礎 現代文1プラス 大学入学共通テスト対策版」(尚文出版)				

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
- ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、試行錯誤して粘り強い取り組みを行おうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	●ガイダンス ●予習復習体験学習 【基礎学力 到達度テスト】	・高校での学習や目標について理解する。 ・現代文の予習復習について具体的に学習する。 ・「届く言葉」の予習をする。			○	2
	①自己と他者 「届く言葉」	・相手に「届く言葉」とそうでない言葉の違いについて、対比的に書かれた評論を読み取ることができる。	○	○	○	4
	参照：「評論の読み方」 (p18～21)	・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。		○	○	1
	5月連休課題				○	
5	参照：「分かりやすい説明をする」(p22～28)	・目的や相手に合った分かりやすい説明の仕方を理解する。		○	○	1
	【1学期中間考査】 「届く言葉」					1
	②認識を深める 「水の東西」	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	○	○	○	5
	参照：「発想を広げて課題を見つける」(p57～64)	・発想を広げてアイデアを整理し、的確に伝える方法を知る。				
6	③言葉と社会 「言葉は世界を切り分ける」	・「他言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持って言語生活を豊かにする。	○	○	○	6
	参照：「本を紹介する」 (p104～107)	・図書館の利用の仕方を学ぶ。 ・話の構成や、紹介の仕方を工夫して話す。 【言語活動】		○	○	1
	【1学期期末考査】 「水の東西」，「言葉は世界を切り分ける」					1
7	夏期休暇課題				○	
	【スタディーサポート】					1
8						

9	②認識を深める 「今ここにある無数の未知」	<ul style="list-style-type: none"> ・辺境を旅した体験に基づく、筆者の「旅」についての主張を的確に読み取ることができる。 ・筆者が考えたことを理解し、表現に託された意味を捉え、自己との関係の中で、世界についての考えを深める。 	○	○	○	5
10	④共に生きる 「真の自立とは」	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立」の在り方について考察する評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 	○	○	○	6
【2学期中間考査】 「今ここにある無数の未知」, 「真の自立とは」						1
11	⑤世界を広げる 「『無駄』と進化」	<ul style="list-style-type: none"> ・事例に即して内容を正確に読み取り、遺伝システムにおける変異の意義を理解する。 	○	○	○	6
	④共に生きる 「共鳴し引き出される力」	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介されている体験談を踏まえて、「能力」に関する筆者の考えを読み取る。 ・筆者の捉える「能力」について理解を深める。 	○	○	○	6
	参照:「文章を読み比べるために」(p136~138)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の読み比べ方を学び、比較する方法を理解する。 		○	○	1
12	【2学期期末】 「『無駄』と進化」, 「共鳴し引き出される力」					1
冬期休暇課題					○	
1	附録1 「ものと記号」	<ul style="list-style-type: none"> ・記号が持つ性質を理解し、人間の文化的な営みの在り方について考えを深める。 	○	○	○	7
2	⑤世界を広げる 「白」	<ul style="list-style-type: none"> ・「白」に表される、情報に対する意識についての筆者の考えを、独自の表現に注意して読み取る。 ・「新たな知の基準」に対する自分の考えをまとめることができる。 ・筆者の言う「白という感受性」とインターネット時代の感受性を比較し、意見文を書く。【言語活動】 ・書かれている内容を理解し、「白」を読み深める。 	○	○	○	7
3	参照:「思考への扉」 ³ — 一人間の境界」(p178)			○	○	1
	【3学期期末考査】 「ものと記号」, 「白」					1
	春期休暇課題					○

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語 科 1 年		言語文化		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	言語文化	対象	スポーツ	コース	単位数 3 単位
教科書	精選言語文化		出版社 東京書籍		
副教材	「精選言語文化 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「品詞別 頻出漢字マスター3000」(尚文出版), 「新・要説文語文法 五訂新版」(日栄社), 「漢文必携 五訂版」(桐原書店), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」(数研出版), 「ニューフェイズ古典1」(第一学習社)				

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
- ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、試行錯誤して粘り強い取り組みを行おうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元 (☆現代文 ●古文 ◇漢文)	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	○ガイダンス	・年間計画や日々の学習について理解する。			○	1
	【基礎学力 到達度テスト】					
	●①古文入門 宇治拾遺物語「児のそら寝」 〈予習復習体験学習〉	・歴史的仮名遣いについて理解し，説話のおもしろさを読み取ることができる。 ・品詞分解を通し，単語を意識した精読・読解をする力を身につける。 ・予習，復習等，高校での学習のやり方を具体的に身につける。	○	○	○	4
5	○課題の取り組み方 〈体験学習〉	・ワーク課題の取り組み方を理解する。		○	○	1
	5月連休課題			○		
	●①古文入門 十訓抄「大江山の歌」 ※用言の学習	・文語のきまりに注意しながら，登場人物の言動と和歌の内容を読み取る。 ・「大江山の歌」の文章をもとに，用言の活用を学ぶ。 ・活用の種類や活用形を理解する。	○	○	○	5
	【1学期中間考査】 「児のそら寝」，「大江山の歌」，用言，5月連休課題				1	
6	●②随筆 枕草子「ありがたきもの」 ※古文の窓2『枕草子』のパロディ(p136)	・作品の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を深めることができる。 ・作者の鋭い観察眼と現代に通じる思いを味わう。 ・「ありがたきもの」やそのパロディを参考に，現代版「○○もの」を書く。【言語活動】	○	○	○	8
	◇①漢文入門 訓読の基本「訓読」「格言」 「再読文字」 ※漢字の読みと意味—— 漢和辞典を活用しよう	・漢文の特色を知り，訓読のきまりを理解するとともに，格言に親しむ。 ・訓点に従って漢文を読み，漢文に慣れ親しむ。 ・漢和辞典の使い方を知り，漢字の読みと意味の関係について理解する。【言語活動】	○	○	○	10
7	6月提出課題			○		
	【1学期期末考査】 「ありがたきもの」，訓読の基本，6月提出課題				1	
	夏期休暇課題			○		
8	【スタディーサポート】				1	

9 10	◇①故事成語 韓非子「矛盾」	<ul style="list-style-type: none"> ・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。 ・脚注を参考にして現代語訳することができる。 	○	○	○	3
	◇②寓話 戦国策「借虎威」	<ul style="list-style-type: none"> ・話の展開や登場人物の言動を読み取り、寓話に込められた意図について考える。 ・故事成語として知られている「寓話」を図説や漢和辞典等で調べ、理解する。 	○	○	○	6
	●③歌物語 伊勢物語「芥川」「東下り」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 ・歌物語の文学史・基本的な助動詞についても学ぶ。 ・和歌の基本事項を学ぶ。 	○	○	○	10
10月提出課題				○		
【2学期中間考査】 「矛盾」, 「借虎威」, 「芥川」, 「東下り」						1
11	☆②小説1 「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> ・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。 	○	○	○	10
	☆翻案作品を原作と読み比べる	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を元にして作られた作品を原作と読み比べ、理解を深める。【言語活動】 				
	●恋の歌を読み比べる (p180~182)	<ul style="list-style-type: none"> ・「和歌の修辞」(p175)を学ぶ。 ・各歌集の特徴を学ぶ。 ・近代の詩歌を読み味わう。 ・さまざまな時代の恋の歌を読み比べて、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・それぞれの詩歌や楽曲において、どのような恋の気持ちが詠まれているか(歌われているか)を読み取り、共通点や相違点をまとめる。【言語活動】 	○	○	○	5
☆①随筆 「言葉を届ける」	<ul style="list-style-type: none"> ・恋愛をテーマに詠まれた短歌とそれに対する筆者の見解に注意して、随筆を読み味わう。 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 	○	○	○	5	
11月提出課題				○		
【2学期期末考査】 「羅生門」, 「言葉を届ける」, 恋の歌						1
冬期休暇課題				○		

1	◇③詩文 絶句と律詩 「鹿柴(王維)」 「春暁(孟浩然)」 「春暁(幸田露伴)」	・漢詩の詩形や押韻といった基本事項をおさえる。 ・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。 ・二作品の「春暁」を比較し、考えたことをまとめる。 【言語活動】	○	○	○	8
2	●⑥作り物語と軍記物語 竹取物語「天の羽衣」(「天人の中に…」以降)	・作り物語に表れた多様な思いを、叙述を基に的確に捉える。 ・敬語の種類、敬意の方向を学ぶ。	○	○	○	7
	●古文のひろがり 「昔の犬は何と鳴く」	・言葉の変化についての解説を読み、言語文化への視野を広げることができる。 ・古文に用いられている擬音語・擬態語について調べ、現代語と比較して気づいたことをまとめるとともに、古語と現代語のつながりについて理解する。【言語活動】	○	○	○	6
	2月提出課題				○	
3	【3学期期末考査】 絶句と律詩、「天の羽衣」、「昔の犬は何と鳴く」,					1
	【スタディサポート】					1
	春期休暇課題				○	

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語 科 1 年		言語文化		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	言語文化	対象	進学	コース	単位数 2 単位
教科書	精選言語文化		出版社 東京書籍		
副教材	「精選言語文化 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「品詞別 頻出漢字マスター3000」(尚文出版), 「新・要説文語文法 五訂新版」(日栄社), 「漢文必携 五訂版」(桐原書店), 「完全頻度順 入試対策ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」(尚文出版), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」(数研出版), 「ニューフェイス古典1」(第一学習社)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、試行錯誤して粘り強い取り組みを行おうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元 (☆現代文 ●古文 ◇漢文)	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評 価 の 観 点			時 間 数
			a	b	c	
4	○ガイダンス	・年間計画や日々の学習について理解する。			○	1
	【基礎学力 到達度テスト】					
	●①古文入門 宇治拾遺物語「児のそら寝」〈予習復習体験学習〉	・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取ることができる。 ・品詞分解を通し、単語を意識した精読・読解をする力を身につける。 ・予習、復習等、高校での学習のやり方を具体的に身につける。	○	○	○	4
	○課題の取り組み方 〈体験学習〉	・ワーク課題の取り組み方を理解する。		○	○	1
5	5月連休課題			○		
6	●①古文入門 十訓抄「大江山の歌」 ※用言の学習	・文語のきまりに注意しながら、登場人物の言動と和歌の内容を読み取る。 ・「大江山の歌」の文章をもとに、用言の活用を学ぶ。 ・活用の種類や活用形を理解する。	○	○	○	4
	【1学期中間考査】 「児のそら寝」，「大江山の歌」，用言，5月連休課題，「古文単語325」					1
	●②随筆 枕草子「ありがたきもの」 ※古文の窓2『枕草子』のパロディ(p136)	・作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 ・作者の鋭い観察眼と現代に通じる思いを味わう。 ・「ありがたきもの」やそのパロディを参考に、現代版「○○もの」を書く。【言語活動】	○	○	○	5
7	◇①漢文入門 訓読の基本「訓読」「格言」 「再読文字」 ※漢字の読みと意味—— 漢和辞典を活用しよう	・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 ・訓点に従って漢文を読み、漢文に慣れ親しむ。 ・漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について理解する。【言語活動】	○	○	○	7
	6月提出課題			○		
8	【1学期期末考査】 「ありがたきもの」，訓読の基本，「古文単語325」					1
	夏期休暇課題			○		
	【スタディーサポート】					1

9	◇①故事成語 韓非子「矛盾」	<ul style="list-style-type: none"> ・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。 ・脚注を参考にして現代語訳することができる。 	○	○	○	3
10	◇②寓話 戦国策「借虎威」	<ul style="list-style-type: none"> ・話の展開や登場人物の言動を読み取り、寓話に込められた意図について考える。 ・故事成語として知られている「寓話」を図説や漢和辞典等で調べ、理解する。 	○	○	○	4
	●③歌物語 伊勢物語「芥川」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 ・歌物語の文学史・基本的な助動詞についても学ぶ。 ・和歌の基本事項を学ぶ。 	○	○	○	5
10月提出課題					○	
【2学期中間考査】 「矛盾」, 「借虎威」, 「芥川」 「古文単語325」						1
	☆②小説1 「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> ・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。 ・古典を元にして作られた作品を原作と読み比べ、理解を深める。【言語活動】 	○	○	○	7
	☆翻案作品を原作と読み比べる					
11	●恋の歌を読み比べる (p180~182)	<ul style="list-style-type: none"> ・「和歌の修辞」(p175)を学ぶ。 ・各歌集の特徴を学ぶ。 ・近代の詩歌を読み味わう。 ・さまざまな時代の恋の歌を読み比べて、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・それぞれの詩歌や楽曲において、どのような恋の気持ちが詠まれているか(歌われているか)を読み取り、共通点や相違点をまとめる。【言語活動】 	○	○	○	4
	☆①随筆 「言葉を届ける」	<ul style="list-style-type: none"> ・恋愛をテーマに詠まれた短歌とそれに対する筆者の見解に注意して、随筆を読み味わう。 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 	○	○	○	3
11月提出課題					○	
12	【2学期期末考査】 「羅生門」, 「言葉を届ける」, 恋の歌, 「古文単語325」					1
冬期休暇課題					○	

1	◇③詩文 絶句と律詩 「鹿柴(王維)」 「春暁(孟浩然)」 「春暁(幸田露伴)」	・漢詩の詩形や押韻といった基本事項をおさえる。 ・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。 ・二作品の「春暁」を比較し、考えたことをまとめる。 【言語活動】	○	○	○	5
2	●⑥作り物語と軍記物語 竹取物語「天の羽衣」(「天人の中に…」以降)	・作り物語に表れた多様な思いを、叙述を基に的確に捉える。 ・敬語の種類、敬意の方向を学ぶ。	○	○	○	4
	●古文のひろがり 「昔の犬は何と鳴く」	・言葉の変化についての解説を読み、言語文化への視野を広げることができる。 ・古文に用いられている擬音語・擬態語について調べ、現代語と比較して気づいたことをまとめるとともに、古語と現代語のつながりについて理解する。 【言語活動】	○	○	○	3
	2月提出課題				○	
3	【3学期期末考査】 絶句と律詩, 「天の羽衣」, 「昔の犬は何と鳴く」, 「古文単語 325」					1
	【スタディサポート】					1
	春期休暇課題				○	

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語 科 1 年		言語文化		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	言語文化	対象	特進	コース	単位数 3 単位
教科書	精選言語文化		出版社 東京書籍		
副教材	「精選言語文化 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「品詞別 頻出漢字マスター3000」(尚文出版), 「新・要説文語文法 五訂新版」(日栄社), 「漢文必携 五訂版」(桐原書店), 「完全頻度順 入試対策ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」(尚文出版), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」(数研出版), 「基礎 現代文1 プラス 大学入学共通テスト対策版」(尚文出版), 「三訂版 プロGRESS古文総演習 基本編」(いいずな書店), 「三訂版 プロGRESS漢文総演習 基本編」(いいずな書店)				

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
- ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、試行錯誤して粘り強い取り組みを行おうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元 (☆現代文 ●古文 ◇漢文)	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評 価 の 観 点			時 間 数
			a	b	c	
4	○ガイダンス 【基礎学力 到達度テスト】	・年間計画や日々の学習について理解する。			○	1
	●①古文入門 宇治拾遺物語「児のそら寝」〈予習復習体験学習〉	・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取ることができる。 ・品詞分解を通し、単語を意識した精読・読解をする力を身につける。 ・予習、復習等、高校での学習のやり方を具体的に身につける。	○	○	○	4
5	○課題の取り組み方 〈体験学習〉	・ワーク課題の取り組み方を理解する。		○	○	1
	5月連休課題				○	
	●①古文入門 十訓抄「大江山の歌」 ※用言の学習	・文語のきまりに注意しながら、登場人物の言動と和歌の内容を読み取る。 ・「大江山の歌」の文章をもとに、用言の活用を学ぶ。 ・活用の種類や活用形を理解する。	○	○	○	5
	【1学期中間考査】 「児のそら寝」，「大江山の歌」，用言					1
6	●②随筆 枕草子「ありがたきもの」 ※古文の窓2『枕草子』のパロディ(p136)	・作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 ・作者の鋭い観察眼と現代に通じる思いを味わう。 ・「ありがたきもの」やそのパロディを参考に、現代版「○○もの」を書く。【言語活動】	○	○	○	8
	◇①漢文入門 訓読の基本「訓読」「格言」 「再読文字」 ※漢字の読みと意味—— 漢和辞典を活用しよう	・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 ・訓点に従って漢文を読み、漢文に慣れ親しむ。 ・漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について理解する。【言語活動】	○	○	○	10
7	【1学期期末考査】 「ありがたきもの」，訓読の基本					1
	夏期休暇課題				○	
8	【スタディーサポート】					1
9	◇①故事成語 韓非子「矛盾」	・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。 ・脚注を参考にして現代語訳することができる。	○	○	○	3
10	◇②寓話 戦国策「借虎威」	・話の展開や登場人物の言動を読み取り、寓話に込められた意図について考える。 ・故事成語として知られている「寓話」を図説や漢和辞典等で調べ、理解する。	○	○	○	6

	●③歌物語 伊勢物語 「芥川」「東下り」	<ul style="list-style-type: none"> 歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 歌物語の文学史・基本的な助動詞についても学ぶ。 和歌の基本事項を学ぶ。 	○	○	○	10
	【2学期中間考査】 「矛盾」, 「借虎威」, 「芥川」, 「東下り」					1
11	☆②小説1 「羅生門」 ☆翻案作品を原作と読み比べる	<ul style="list-style-type: none"> 極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。 古典を元にして作られた作品を原作と読み比べ、理解を深める。【言語活動】 	○	○	○	10
	●恋の歌を読み比べる (p180~182)	<ul style="list-style-type: none"> 「和歌の修辞」(p175)を学ぶ。 各歌集の特徴を学ぶ。 近代の詩歌を読み味わう。 さまざまな時代の恋の歌を読み比べて、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 それぞれの詩歌や楽曲において、どのような恋の気持ちが詠まれているか(歌われているか)を読み取り、共通点や相違点をまとめる。【言語活動】 	○	○	○	5
	☆①随筆 「言葉を届ける」	<ul style="list-style-type: none"> 恋愛をテーマに詠まれた短歌とそれに対する筆者の理解に注意して、随筆を読み味わう。 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 	○	○	○	5
12	【2学期期末】 「羅生門」, 「言葉を届ける」, 恋の歌					1
	冬期休暇課題				○	
1	◇③詩文 絶句と律詩 「鹿柴(王維)」 「春暁(孟浩然)」	<ul style="list-style-type: none"> 漢詩の詩形や押韻といった基本事項をおさえる。 漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。 	○	○	○	8
	2 「春暁(幸田露伴)」 「春望(杜甫)」	<ul style="list-style-type: none"> 二作品の「春暁」を比較し、考えたことをまとめる。【言語活動】 				
	●⑥作り物語と軍記物語 竹取物語「天の羽衣」(「天人の中に…」以降)	<ul style="list-style-type: none"> 作り物語に表れた多様な思いを、叙述を基に的確に捉える。 敬語の種類、敬意の方向を学ぶ。 	○	○	○	7
	●古文のひろがり 「昔の犬は何と鳴く」	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の変化についての解説を読み、言語文化への視野を広げることができる。 古文に用いられている擬音語・擬態語について調べ、現代語と比較して気づいたことをまとめるとともに、古語と現代語のつながりについて理解する。【言語活動】 	○	○	○	6
3	【3学期期末考査】 絶句と律詩, 「天の羽衣」, 「昔の犬は何と鳴く」					1
	春期休暇課題				○	

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語科 2年 論理国語 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	論理国語	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	精選論理国語		出版社 東京書籍		
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」(ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」(尚文出版), 「四訂版プログレス現代文総演習 標準編」(いっずな書店)				

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関わる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	春休みの課題					
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。評論の読み方について助言する。				1
	◇ 論理の力1 「つなげる力」	・用意された問1～5に取り組みながら，理解を深める。	○	○	○	1
	【基礎学力到達度テスト】					
	○ 言語と認識 「相手依存の自己規定」	・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意し，根拠を確かめながら読み，言語と自我の構造について考える。	○	○		6
	5月連休課題：					
	【1学期中間考査】 「相手依存の自己規定」，「つなげる力」5月連休課題					1
5 ・ 6 月	○ 発見への誘い 「ミロのヴィーナス」	・表現の特徴や具体例に注目して筆者の主張を的確に捉え，芸術の見方について考える。	○	○		8
	◇ 論理の力2 「論証する力」	・問6に取り組みながら，論証について理解を深める。	○	○	○	1
	6月課題：					
7 月	【1学期期末考査】 「ミロのヴィーナス」，「論証する力」，6月度課題					1
	夏季休暇課題：					
	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 ・ 10 月	○ 学問のまなざし 「リスクとリスク社会」	・対比に注意して論の展開をつかみ，内容を的確に捉え，「リスク」という概念について理解を深める。	○	○		7
10月	【2学期中間考査】 「リスクとリスク社会」，夏季休暇課題					1
10 月	○ 人間を見つめる 「分人とは何か」	・提示された問いに注意しながら筆者の主張を理解し，自分に引き寄せて考える。	○	○		4
	10月課題：					
11 ・ 12 月	○ 人間を見つめる 「メディアの変容」	・挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意して読み，人間関係の在り方について考えを深める。	○	○		4

	◇ コラム 「文章を読み比べる ために」	・既習の2単元の内容等を踏まえて、比較により検討を 深めることを学ぶ。 ・2単元の内容を比較して、現代の人間関係についての考 えをまとめる。【言語活動】	○	○	○	3
12 月	【2学期期末考査】	「分人とは何か」, 「メディアの変遷」, 「文章を読み比べるために」, 10月課題				1
	冬季休暇課題:					
1 ・ 2 ・	○ イメージを読む 「日本人の美意識」	・古典や芸術作品等を把握し, 本文中の対比を押さえつつ 日本と西欧の美意識の違いを理解する。	○	○		10
3 月	◇ 論理の力3 「要約する力」	・要約の練習を通して論理力を鍛える。			○	2
3 月	【学年末考査】	「日本人の美意識」 「要約する力」, 入試課題				
	春季休暇課題:					

※ 学習の状況により, 進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 論理国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	論理国語	対象	進学 (文系) コース	単位数 2 単位
教科書	精選論理国語		出版社	東京書籍
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」 (尚文出版), 「四訂版プログレス現代文総演習 標準編」 (いっずな書店)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関わる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	春休みの課題					
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。評論の読み方について助言する。				1
	◇ 論理の力1 「つなげる力」	・用意された問1～5に取り組みながら，理解を深める。	○	○	○	1
	【基礎学力到達度テスト】					
	○ 言語と認識 「相手依存の自己規定」	・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意し，根拠を確かめながら読み，言語と自我の構造について考える。	○	○		6
	5月連休課題：					
	【1学期中間考査】 「相手依存の自己規定」，「つなげる力」，5月連休課題					1
5 ・ 6 月	○ 発見への誘い 「ミロのヴィーナス」	・表現の特徴や具体例に注目して筆者の主張を的確に捉え，芸術の見方について考える。	○	○		8
	◇ 論理の力2 「論証する力」	・問6に取り組みながら，論証について理解を深める。	○	○	○	1
	6月課題：					
7 月	【1学期期末考査】 「ミロのヴィーナス」，「論証する力」，6月度課題					1
	夏季休暇課題：					
	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 ・ 10 月	○ 学問のまなざし 「リスクとリスク社会」	・対比に注意して論の展開をつかみ，内容を的確に捉え，「リスク」という概念について理解を深める。	○	○		7
10月	【2学期中間考査】 「リスクとリスク社会」，夏季休暇課題					1
10 月	○ 人間を見つめる 「分人とは何か」	・提示された問いに注意しながら筆者の主張を理解し，自分に引き寄せて考える。	○	○		4
	10月課題：					
11 ・ 12 月	○ 人間を見つめる 「メディアの変容」	・挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意して読み，人間関係の在り方について考えを深める。	○	○		4

	◇ コラム 「文章を読み比べる ために」	・既習の2単元の内容等を踏まえて、比較により検討を 深めることを学ぶ。 ・2単元の内容を比較して、現代の人間関係についての考 えをまとめる。【言語活動】	○	○	○	3
12 月	【2学期期末考査】	「分人とは何か」, 「メディアの変遷」, 「文章を読み比べるために」, 10月課題				1
	冬季休暇課題:					
1 ・ 2 ・	○ イメージを読む 「日本人の美意識」	・古典や芸術作品等を把握し, 本文中の対比を押さえつつ 日本と西欧の美意識の違いを理解する。	○	○		10
3 月	◇ 論理の力3 「要約する力」	・要約の練習を通して論理力を鍛える。			○	2
3 月	【学年末考査】	「日本人の美意識」 「要約する力」, 入試課題				
	春季休暇課題:					

※ 学習の状況により, 進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 論理国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	論理国語	対象	進学 (理系) コース	単位数 1 単位
教科書	精選論理国語		出版社	東京書籍
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」 (尚文出版), 「四訂版プロGRESS現代文総演習 標準編」 (いっずな書店)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関わる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4月	春休みの課題				○	
	○ ガイダンス 予習復習体験学習 ◇ 論理の力1 「つなげる力」	・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。 ・用意された問1～5に取り組みながら，理解を深める。	○	○	○	1 1
5月	5月連休課題：				○	
	【1学期中間考査】 「つなげる力」， 5月連休課題					1
6月	○ 発見への誘い 「ミロのヴィーナス」	・表現の特徴や具体例に注目して筆者の主張を的確に捉え，芸術の見方について考える。	○	○		6
	6月課題：				○	
7月	【1学期期末考査】 「ミロのヴィーナス」， 6月課題					1
8 ・ 9	夏休み課題：				○	
	【スタディー・サポート】					1
	○ 学問のまなざし 「リスクとリスク社会」	・対比に注意して論の展開をつかみ，内容を的確に捉え，「リスク」という概念について理解を深める。	○	○		3
10月	【2学期中間考査】 「リスクとリスク社会」， 夏季休暇課題					1
10月	○ 人間を見つめる 「分人とは何か」	・提示された問いに注意しながら筆者の主張を理解し，自分に引き寄せて考える。	○	○		3
	10月課題：				○	
11月	○ 人間を見つめる 「メディアの変容」	・挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意して読み，人間関係の在り方について考えを深める。	○	○		3
	◇ コラム 「文章を読み比べるために」	・既習の2単元の内容等を踏まえて，比較により検討を深めることを学ぶ。 ・2単元の内容を比較して，現代の人間関係についての考えをまとめる。【言語活動】	○	○		2
12月	【2学期期末考査】 「分人とは何か」 「メディアの変容」 「文章を読み比べるために」， 10月課題					1
	冬季休暇課題：					
1 ・ 2月	○ イメージを読む 「日本人の美意識」	・古典や芸術作品等を把握し，本文中の対比を押さえつつ日本と西欧の美意識の違いを理解する。	○	○		5

	入試期間課題 :			○	
3 月	【学年末考査】 「日本人の美意識」, 入試期間課題				
	春休み課題 :			○	

※ 学習の状況により, 進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 論理国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	論理国語	対象	特進 (文系) コース	単位数 2 単位
教科書	精選論理国語 出版社 東京書籍			
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「TOP2500 三訂版」 (いづな書店) 「錬成現代文 2プラス 大学入学共通テスト対策 新装二版」 (尚文出版)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関わる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	春休み課題					
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。評論の読み方について助言する。				1
	◇ 論理の力1 「つなげる力」	・用意された問1～5に取り組みながら，理解を深める。	○	○	○	1
	【基礎学力到達度テスト】					
	○ 言語と認識 「相手依存の自己規定」	・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意し，根拠を確かめながら読み，言語と自我の構造について考える。	○	○		8
	GW 課題					
	【1学期中間考査】 「相手依存の自己規定」，「つなげる力」5月連休課題 「TOP2500」 P12～65					1
5 ・ 6 月	○ 発見への誘い 「ミロのヴィーナス」	・表現の特徴や具体例に注目して筆者の主張を的確に捉え，芸術の見方について考える。	○	○		8
	◇ 論理の力2 「論証する力」	・問6に取り組みながら，論証について理解を深める。	○	○	○	1
	6月課題					
7 月	【1学期期末考査】 「ミロのヴィーナス」，「論証する力」，6月度課題 「TOP2500」 P66～117					1
	夏休み課題					
	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 ・ 10 月	○ 学問のまなざし 「リスクとリスク社会」	・対比に注意して論の展開をつかみ，内容を的確に捉え，「リスク」という概念について理解を深める。	○	○		7
10 月	【2学期中間考査】 「リスクとリスク社会」，夏季休暇課題 「TOP2500」 P118～169					1
10 月	○ 人間を見つめる 「分人とは何か」	・提示された問いに注意しながら筆者の主張を理解し，自分に引き寄せて考える。	○	○		4
	10月課題					
11 ・	○ 人間を見つめる 「メディアの変容」	・挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意して読み，人間関係の在り方について考えを深める。	○	○		3

12月	◇ コラム 「文章を読み比べるために」	・既習の2単元の内容等を踏まえて、比較により検討を深めることを学ぶ。 ・2単元の内容を比較して、現代の人間関係についての考えをまとめる。【言語活動】	○	○	○	3
12月	【2学期期末考査】 「分人とは何か」, 「メディアの変遷」, 「文章を読み比べるために」, 10月課題 「TOP2500」 P170～241					1
	冬休み課題					
1・2・3月	○ イメージを読む 「日本人の美意識」	・古典や芸術作品等を把握し、本文中の対比を押さえつつ日本と西欧の美意識の違いを理解する。	○	○		10
	高校入試課題					
	◇ 論理の力3 「要約する力」	・要約の練習を通して論理力を鍛える。			○	2
3月	【学年末考査】 「日本人の美意識」 「要約する力」, 入試課題 「TOP2500」 P244～295					
	春休み課題					

※ 学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 論理国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	論理国語	対象	特進 (理系) コース	単位数 1 単位
教科書	精選論理国語		出版社	東京書籍
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「TOP2500 三訂版」 (い いずな書店) 「錬成現代文 2プラス 大学入学共通テスト対策 新装二版」 (尚文出版)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関わる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	春休み課題					
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。評論の読み方について助言する。 ・用意された問1～5に取り組みながら，理解を深める。	○	○	○	1
	◇ 論理の力1 「つなげる力」					1
5 月	【基礎学力到達度テスト】 ○ 言語と認識 「相手依存の自己規定」	・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意し，根拠を確かめながら読み，言語と自我の構造について考える。	○	○		8
	GW 課題					
	【1学期中間考査】 「相手依存の自己規定」，「つなげる力」5月連休課題 「TOP2500」 P12～65					1
5 ・ 6 月	○ 発見への誘い 「ミロのヴィーナス」	・表現の特徴や具体例に注目して筆者の主張を的確に捉え，芸術の見方について考える。 ・問6に取り組みながら，論証について理解を深める。	○	○		8
	◇ 論理の力2 「論証する力」					1
	6月課題					
7 月	【1学期期末考査】 「ミロのヴィーナス」，「論証する力」，6月度課題 「TOP2500」 P66～117					1
	夏休み課題					
	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 ・ 10 月	○ 学問のまなざし 「リスクとリスク社会」	・対比に注意して論の展開をつかみ，内容を的確に捉え，「リスク」という概念について理解を深める。	○	○		7
10 月	【2学期中間考査】 「リスクとリスク社会」，夏季休暇課題 「TOP2500」 P118～169					1
10 月	○ 人間を見つめる 「分人とは何か」	・提示された問いに注意しながら筆者の主張を理解し，自分に引き寄せて考える。	○	○		4
	10月課題					
11 ・	○ 人間を見つめる 「メディアの変容」	・挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意して読み，人間関係の在り方について考えを深める。	○	○		3

12月	◇ コラム 「文章を読み比べるために」	・既習の2単元の内容等を踏まえて、比較により検討を深めることを学ぶ。 ・2単元の内容を比較して、現代の人間関係についての考えをまとめる。【言語活動】	○	○	○	3
12月	【2学期期末考査】 「分人とは何か」, 「メディアの変遷」, 「文章を読み比べるために」, 10月課題 「TOP2500」 P170～241					1
	冬休み課題					
1・2・3月	○ イメージを読む 「日本人の美意識」	・古典や芸術作品等を把握し、本文中の対比を押さえつつ日本と西欧の美意識の違いを理解する。	○	○		10
	入試課題					
	◇ 論理の力3 「要約する力」	・要約の練習を通して論理力を鍛える。			○	2
3月	【学年末考査】 「日本人の美意識」 「要約する力」, 入試課題 「TOP2500」 P244～295					
	春休み課題					

※ 学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 文学国語 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	文学国語	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍				
副教材	「文学国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」 (尚文出版), 「四訂版プログレス現代文総演習 標準編」 (いっずな書店)				

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関わる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートに取り方に助言を行う。	○	○	○	1
	【基礎学力到達度テスト】					
	○ 詩歌「永訣の朝」	・最愛の妹の死に臨む悲しみと、それを通し得た生きる方向性を読み取る。	○	○		2
	○ 短歌「モードの変遷」	・例示された短歌表現の特質を理解し、時代の変化とのかかわりを考える。	○	○		5
5 月	【1学期中間考査】 「永訣の朝」，「モードの変遷」，5月連休課題					1
5 ・ 6 月	○ 小説 『山月記』	・登場人物の心理を表現に即し把握し、主人公の内面の苦悩について考える。 ・李徴の生き方についてどのように考えるか意見をまとめる。【言語活動】	○	○	○	8
7 月	【1学期期末考査】『山月記』，6月課題					1
8 月	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 月	○ 評論 「文学のふるさと」	・本文中の例『伊勢物語』第6段を並行して読みながら、筆者の主張を的確に捉え、理解を深める。	○	○		6
10 月	【2学期中間考査】 「文学のふるさと」，夏季休暇課題					1
10 ・ 11 月	○ 随筆 「雨月物語」	・筆者の考え方の変化をとらえ、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。	○	○		4
	○ 小説 「あの朝」	・場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。	○	○		6
12 月	【2学期期末考査】 「雨月物語」，「あの朝」，10月課題					1
1 2 3 月	○ 小説『こころ』	・登場人物の関係を把握し、場面展開に即した心理描写を読み取り、教科書採択部分の主題について考える。 ・感想文を書く。【言語活動】	○	○	○	10
3 月	【3学期期末考査】『こころ』，入試期間課題					1

※課題は「論理国語」と共通。

※ 学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 文学国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	文学国語	対象	進学 (文系) コース	単位数 2 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍			
副教材	「文学国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」 (尚文出版), 「四訂版プロGRESS現代文総演習 標準編」 (いっずな書店)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートの取り方に助言を行う。	○	○	○	1
	【基礎学力到達度テスト】					
	○ 詩歌「永訣の朝」	・最愛の妹の死に臨む悲しみと、それを通し得た生きる方向性を読み取る。	○	○		2
	○ 短歌「モードの変遷」	・例示された短歌表現の特質を理解し、時代の変化とのかかわりを考える。	○	○		5
5 月	【1学期中間考査】 「永訣の朝」，「モードの変遷」，5月連休課題					1
5 ・ 6 月	○ 小説 『山月記』	・登場人物の心理を表現に即し把握し、主人公の内面の苦悩について考える。 ・李徴の生き方についてどのように考えるか意見をまとめる。【言語活動】	○	○	○	8
7 月	【1学期期末考査】『山月記』，6月課題					1
8 月	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 月	○ 評論 「文学のふるさと」	・本文中の例『伊勢物語』第6段を並行して読みながら、筆者の主張を的確に捉え、理解を深める。	○	○		6
10 月	【2学期中間考査】 「文学のふるさと」，夏季休暇課題					1
10 ・ 11 月	○ 随筆 「雨月物語」	・筆者の考え方の変化をとらえ、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。	○	○		4
	○ 小説 「あの朝」	・場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。	○	○		6
12 月	【2学期期末考査】 「雨月物語」，「あの朝」，10月課題					1
1 2 3 月	○ 小説『ころ』	・登場人物の関係を把握し、場面展開に即した心理描写を読み取り、教科書採択部分の主題について考える。 ・感想文を書く。【言語活動】	○	○	○	10
3 月	【3学期期末考査】『ころ』，入試期間課題					1

※課題は「論理国語」と共通。

※ 学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 文学国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	文学国語	対象	進学 (理系) コース	単位数 1 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍			
副教材	「文学国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」 (尚文出版), 「四訂版プロGRESS現代文総演習 標準編」 (いっずな書店)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関わる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。	○	○	○	1
	【基礎学力到達度テスト】 ○ 詩歌「永訣の朝」	・最愛の妹の死に臨む悲しみと，それを通し得た生きる方向性を読み取る。	○	○		1
	※早く終われば『山月記』に入る。		○	○		1
	【1学期中間考査】「永訣の朝」，5月連休課題					1
6月	○ 小説 『山月記』	・登場人物の心理を表現に即し把握し，主人公の内面の苦悩について考える。 ・李徴の生き方についてどのように考えるか意見をまとめる。【言語活動】	○	○		4
7月	【1学期期末考査】『山月記』，6月課題					1
8月	【スタディー・サポート】					1
9月	○ 評論 「文学のふるさと」	・本文中の例『伊勢物語』第6段を並行して読みながら，筆者の主張を的確に捉え，理解を深める。	○	○		4
10月	【2学期中間考査】「文学のふるさと」，夏季休暇課題					1
11月・12月	○ 小説「あの朝」	・場面ごとの設定を押さえて，その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。	○	○		5
	【2学期期末考査】「あの朝」，10月課題					1
1月・2月	○ 小説『ころ』	・登場人物の関係を把握し，場面展開に即した心理描写を読み取り，教科書採択部分の主題について考える。 ・感想文を書く。【言語活動】	○	○	○	7
3月	【学年末考査】『ころ』，入試期間課題					1

※課題は「論理国語」と共通。

※ 学習の状況により，進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 文学国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	文学国語	対象	特進 (文系) コース	単位数 2 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍			
副教材	「文学国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「TOP2500 三訂版」 (いっずな書店) 「錬成現代文 2プラス 大学入学共通テスト対策 新装二版」 (尚文出版)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関わる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートの取り方に助言を行う。	○	○	○	1
	【基礎学力到達度テスト】					
	○ 詩歌「永訣の朝」	・最愛の妹の死に臨む悲しみと、それを通し得た生きる方向性を読み取る。	○	○		3
	○ 短歌「モードの変遷」	・例示された短歌表現の特質を理解し、時代の変化とのかかわりを考える。	○	○		6
5 月	【1学期中間考査】 「永訣の朝」，「モードの変遷」，5月連休課題					1
5 ・ 6 ・ 7 月	○ 小説 『山月記』	・登場人物の心理を表現に即し把握し、主人公の内面の苦悩について考える。 ・李徴の生き方についてどのように考えるか意見をまとめる。【言語活動】	○	○	○	7
7 月	【1学期期末考査】『山月記』，6月課題					1
8 月	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 月	○ 評論 「文学のふるさと」	・本文中の例『伊勢物語』第6段を並行して読みながら、筆者の主張を的確に捉え、理解を深める。	○	○		6
10 月	【2学期中間考査】 「文学のふるさと」，夏季休暇課題					1
10 ・ 11 月	○ 随筆 「雨月物語」	・筆者の考え方の変化をとらえ、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。	○	○		5
	○ 小説 「あの朝」	・場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。	○	○		5
12 月	【2学期期末考査】 「雨月物語」，「あの朝」，10月課題					1
1 2 3 月	○ 小説『ころ』	・登場人物の関係を把握し、場面展開に即した心理描写を読み取り、教科書採択部分の主題について考える。 ・感想文を書く。【言語活動】	○	○	○	10
3 月	【3学期期末考査】『ころ』，入試期間課題					1

※ 学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 文学国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	文学国語	対象	特進 (理系) コース	単位数 1 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍			
副教材	「文学国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「TOP2500 三訂版」 (いっずな書店) 「錬成現代文 2プラス 大学入学共通テスト対策 新装二版」 (尚文出版)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関わる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。	○	○	○	1
	【基礎学力到達度テスト】 ○ 詩歌「永訣の朝」	・最愛の妹の死に臨む悲しみと，それを通し得た生きる方向性を読み取る。	○	○		1
	※早く終われば『山月記』に入る。		○	○		1
	【1学期中間考査】「永訣の朝」，5月連休課題					1
6月	○ 小説 『山月記』	・登場人物の心理を表現に即し把握し，主人公の内面の苦悩について考える。 ・李徴の生き方についてどのように考えるか意見をまとめる。【言語活動】	○	○		4
7月	【1学期期末考査】『山月記』，6月課題					1
8月	【スタディー・サポート】					1
9月	○ 評論 「文学のふるさと」	・本文中の例『伊勢物語』第6段を並行して読みながら，筆者の主張を的確に捉え，理解を深める。	○	○		6
10月	【2学期中間考査】「文学のふるさと」，夏季休暇課題					1
11月・12月	○小説「あの朝」	・場面ごとの設定を押さえて，その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。	○	○		4
	【2学期期末考査】「あの朝」，10月課題					1
1月・2月	○ 小説『ころ』	・登場人物の関係を把握し，場面展開に即した心理描写を読み取り，教科書採択部分の主題について考える。 ・感想文を書く。【言語活動】	○	○	○	10
3月	【学年末考査】『ころ』，入試期間課題					1

※ 学習の状況により，進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 古典探究 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	古典探究	対象	スポーツ	コース	単位数 3 単位
教科書	精選古典探究 (古文編, 漢文編)			出版社	東京書籍
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」, 「同 漢文編」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍) 「新要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順 入試対策 ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「四訂版プロGRESS古典総演習 標準編」 (いいずな書店)				

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	春休み課題					
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートに取り方に助言を行う。 ・「基礎学力到達度テスト」対策として，問題演習を行う。 				1
	○ 問題演習		○	○	○	1
	【基礎学力到達度テスト】					1
	○ 説話 「小野篁，広才のこと」	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語・接続助詞・「なむ」に注意し，口語訳に取り組む。 ・説話の面白さを，展開に即して読み味わう。 	○	○		8
	GW 課題					
	○用言・助動詞の復習	・「文法・句形・語彙ノート」p2~9 小テスト			○	1
	【1学期中間考査】 「小野篁，広才のこと」，5月連休課題，古文単語p192~213					1
5 ・ 6 ・ 7 月	○ 随筆『枕草子』 「雪のいと高う降りたるを」	<ul style="list-style-type: none"> ・重要単語や敬語・その他の重要文法事項に注意して，口語訳する。 ・随筆の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を広げる。 	○	○		6
	○古文の窓1 (P.40) ◇ 小話 「先従隗始」		○	○		8
7 月	【1学期期末考査】 「雪のいと高う降りたるを」，「先従隗始」，古文単語p214~237					1
	夏休み課題					
8 月	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 月	○漢文句形の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・「文法・句形・語彙ノート」p18~29 小テスト ・文章の構成や展開を理解し，孟子の思想を読み取る。 			○	1
	◇『孟子』 「性之善也、猶水之就下」		○	○		8
10 月	【2学期中間考査】 「孟子」，夏季休暇課題，古文単語p238~263					1
	◇『史記』「四面楚歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・項羽の心情を読み取り，故事成語の成り立ちを知る。 ・漢詩の基礎事項を確認する。 	○	○		9
	10月課題					
11 月	○ 随筆『徒然草』 「花は盛りに」 (進度により途中まで。)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な重要文法事項や単語を押さえつつ，文の構成にも注意しながら，口語訳に取り組む。 ・自然や人事に対する見方・考え方を読み味わう。 ・本文の内容に対してどのように考えるか他者と話し合い，自分の意見を文章でまとめる。【言語活動】 	○	○	○	10

12月	【2学期期末考査】 「花は盛りに」 「四面楚歌」, 古文単語 p264~287				1
	冬休み課題				
1・2月	○ 物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」 ○ 古典基礎の総復習	・他の作品や絵との関係を踏まえながら, 作り物語の内容を的確に読み取る。 ・「文法・句形・語彙ノート」 p17, p31 小テスト	○	○	1 2 2
	入試課題				
3月	【学年末考査】 「光源氏の誕生」, 入試期間課題, 古文単語 p288~308				
	春休み課題				

※ 学習の状況により, 進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 古典探究 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	古典探究	対象	進学 (文系・理系) コース	単位数	2 単位
教科書	精選古典探究 (古文編, 漢文編)			出版社	東京書籍
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」, 「同 漢文編」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍) 「新要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順 入試対策 ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「四訂版プロGRESS古典総演習 標準編」 (いいずな書店)				

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方, 感じ方, 考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方, 感じ方, 考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	春休みの課題：					
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートに取り方に助言を行う。 ・「基礎学力到達度テスト」対策として，問題演習を行う。 ・敬語・接続助詞・「なむ」に注意し，口語訳に取り組む。 ・説話の面白さを，展開に即して読み味わう。 				1
	○ 問題演習		○	○	○	1
	【基礎学力到達度テスト】					1
	○ 説話 「小野篁，広才のこと」		○	○		6
	GW 課題：					
	○用言・助動詞の復習	・「文法・句形・語彙ノート」p2~9 小テスト			○	1
	【1学期中間考査】 「小野篁，広才のこと」，5月連休課題，古文単語p192~213					1
5 ・ 6 ・ 7 月	○ 随筆『枕草子』 「雪のいと高う降りたるを」	<ul style="list-style-type: none"> ・重要単語や敬語・その他の重要文法事項に注意して，口語訳する。 ・随筆の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を広げる。 ・しっかり訓読し，使役・抑揚・反語等の句法を意識する。 ・たとえ話を的確にとらえることで，結論を読み取る。 	○	○		4
	○古文の窓1 (P.40) ◇ 小話 「先従隗始」		○	○		5
7 月	【1学期期末考査】 「雪のいと高う降りたるを」，「先従隗始」，古文単語p214~237					1
	夏季学習会：「文法・句形・語彙ノート」p10~13（助詞その他）p18~29（漢文句形）					
	夏季休暇課題：					
8 月	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 月	○漢文句形の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・「文法・句形・語彙ノート」p18~29 小テスト ・文章の構成や展開を理解し，孟子の思想を読み取る。 			○	1
	◇『孟子』 「性之善也、猶水之就下」		○	○		6
	【2学期中間考査】 「孟子」，夏季休暇課題，古文単語p238~263					1
10 月	◇『史記』「四面楚歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・項羽の心情を読み取り，故事成語の成り立ちを知る。 ・漢詩の基礎事項を確認する。 	○	○		6
	11月課題：					
11 月	○ 随筆『徒然草』 「花は盛りに」 (進度により途中まで。)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な重要文法事項や単語を押さえつつ，文の構成にも注意しながら，口語訳に取り組む。 ・自然や人事に対する見方・考え方を読み味わう。 ・本文の内容に対してどのように考えるか他者と話し合 	○	○	○	7

		い, 自分の意見を文章でまとめる。【言語活動】				
12月	【2学期期末考査】	「花は盛りに」「四面楚歌」, 古文単語 p264~287				1
	冬季学習会: 「文法・句形・語彙ノート」 p16 (和歌) p30 (漢詩), 到テ過去問					
	冬季休暇課題:					
1・2月	○ 物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」	<ul style="list-style-type: none"> ・他の作品や絵との関係を踏まえながら, 作り物語の内容を的確に読み取る。 ・「文法・句形・語彙ノート」 p17, p31 小テスト 	○	○		9
	○ 古典基礎の総復習				○	2
	入試期間課題:					
3月	【学年末考査】	「光源氏の誕生」, 入試期間課題, 古文単語 p288~308				
	春季休暇課題:					

※ 学習の状況により, 進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 古典探究 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	古典探究	対象	特進 (文系)	コース	単位数 3 単位
教科書	精選古典探究 (古文編, 漢文編)			出版社	東京書籍
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」, 「同 漢文編」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍) 「新要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順 入試対策ベストセクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「三訂版プログレス古文総演習 標準編」 (いっずな書店), 「三訂版プログレス漢文総演習 標準編」 (いっずな書店), 「基礎と応用 古文解釈Lノート」 (日栄社)				

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数	
			a	b	c		
4 ・ 5 月	春休みの課題						
	○ ガイダンス 予習復習体験学習	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートに取り方に助言を行う。 ・「基礎学力到達度テスト」対策として，問題演習を行う。 	○	○	○	1	
	○ 問題演習 【基礎学力到達度テスト】					1	
	○ 説話 「小野篁，広才のこと」					6	
		GW 課題					
		○用言の復習	・プログレス古文「文法・語句ノート」			○	1
	【1学期中間考査】 「小野篁，広才のこと」，5月連休課題，「古文単語325」					1	
5 ・ 6 ・ 7 月	○ 随筆『枕草子』 「雪のいと高う降りたるを」	<ul style="list-style-type: none"> ・重要単語や敬語・その他の重要文法事項に注意して，口語訳する。 ・随筆の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を広げる。 	○	○		6	
	○古文の窓1 (P.40) ◇ 小話 「先従隗始」					5	
		6月課題					
	○助動詞(古文)・句形(漢文)の復習	・「プログレス古文 文法・語句ノート」「プログレス漢文 句形・語彙ノート」			○	1	
7 月	【1学期期末考査】 「雪のいと高う降りたるを」，「先従隗始」，6月課題，「古文単語325」					1	
	夏期学習会：「基礎と応用 古文解釈Lノート」						
	夏期休暇課題						
8 月	【スタディー・サポート】					1	
8 ・ 9 月	○漢文句形の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・「プログレス漢文 句形・語彙ノート」9～16小テスト ・文章の構成や展開を理解し，孟子の思想を読み取る。 	○	○	○	1	
	◇『孟子』 「性之善也、猶水之就下」					6	
	9月課題						

	【2学期中間考査】 「孟子」， 夏期休暇課題， 9月課題， 「古文単語 325」				1	
10月	◇『史記』 「四面楚歌」	・項羽の心情を読み取り， 故事成語の成り立ちを知る。 ・漢詩の基礎事項を確認する。	○	○		6
11月	11月課題					
	○ 随筆『徒然草』 「花は盛りに」 (進度により途中まで。)	・様々な重要文法事項や単語を押さえつつ， 文の構成にも注意しながら， 口語訳に取り組む。 ・自然や人事に対する見方・考え方を読み味わう。 ・本文の内容に対してどのように考えるか他者と話し合い， 自分の意見を文章でまとめる。【言語活動】	○	○	○	8
12月	【2学期期末考査】 「花は盛りに」 「四面楚歌」， 11月課題， 「古文単語 325」					1
	冬期学習会： 「基礎と応用 古文解釈Lノート」， 到テ過去問					
	冬期休暇課題					
1	○ 物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」	・他の作品や絵との関係を踏まえながら， 作り物語の内容を的確に読み取る。	○	○		10
2	○ 古典基礎の総復習	・「文法・語句ノート」 「句形・語彙ノート」 小テスト			○	3
月	入試期間課題					
3月	【学年末考査】 「光源氏の誕生」， 冬期休暇課題， 入試期間課題， 「古文単語 325」					1
	春季休暇課題					

※ 学習の状況により， 進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 古典探究 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	古典探究	対象	特進 (理系)	コース	単位数 2 単位
教科書	精選古典探究 (古文編, 漢文編)			出版社	東京書籍
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」, 「同 漢文編」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍) 「新要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順 入試対策ベストセクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「三訂版プログレス古文総演習 標準編」 (いいずな書店), 「三訂版プログレス漢文総演習 標準編」 (いいずな書店), 「基礎と応用 古文解釈Lノート」 (日栄社)				

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方, 感じ方, 考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方, 感じ方, 考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4 ・ 5 月	春休みの課題					
	○ ガイダンス 予習復習体験学習	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートに取り方に助言を行う。 ・「基礎学力到達度テスト」対策として，問題演習を行う。 				1
	○ 問題演習 【基礎学力到達度テスト】		○	○	○	1
	○ 説話 「小野篁，広才のこと」		○	○		5
		<ul style="list-style-type: none"> ・敬語・接続助詞・「なむ」に注意し，口語訳に取り組む。 ・説話の面白さを，展開に即して読み味わう。 				
		GW 課題				
	○用言の復習	・プログレス古文「文法・語句ノート」			○	1
	【1学期中間考査】 「小野篁，広才のこと」，5月連休課題，「古文単語325」					1
5 ・ 6 ・ 7 月	○ 随筆『枕草子』 「雪のいと高う降りたるを」	<ul style="list-style-type: none"> ・重要単語や敬語・その他の重要文法事項に注意して，口語訳する。 ・随筆の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を広げる。 	○	○		5
	○古文の窓1 (P.40) ◇ 小話 「先従隗始」		○	○		5
		6月課題				
	○助動詞(古文)・句形(漢文)の復習	・「プログレス古文 文法・語句ノート」「プログレス漢文 句形・語彙ノート」			○	1
7 月	【1学期期末考査】 「雪のいと高う降りたるを」，「先従隗始」，6月課題，「古文単語325」					1
	夏期学習会：「基礎と応用 古文解釈Lノート」					
	夏期休暇課題					
8 月	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 月	○漢文句形の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・「プログレス漢文 句形・語彙ノート」9～16小テスト ・文章の構成や展開を理解し，孟子の思想を読み取る。 	○	○	○	1
	◇『孟子』 「性之善也、猶水之就下」					6
	9月課題					

	【2学期中間考査】 「孟子」， 夏期休暇課題， 9月課題， 「古文単語325」					1
10月	◇『史記』 「四面楚歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・項羽の心情を読み取り， 故事成語の成り立ちを知る。 ・漢詩の基礎事項を確認する。 	○	○		6
11月	11月課題					
	○ 随筆『徒然草』 「花は盛りに」 (進度により途中まで。)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な重要文法事項や単語を押さえつつ， 文の構成にも注意しながら， 口語訳に取り組む。 ・自然や人事に対する見方・考え方を読み味わう。 ・本文の内容に対してどのように考えるか他者と話し合い， 自分の意見を文章でまとめる。【言語活動】 	○	○	○	7
12月	【2学期期末考査】 「花は盛りに」 「四面楚歌」， 11月課題， 「古文単語325」					1
	冬期学習会： 「基礎と応用 古文解釈Lノート」， 到テ過去問					
	冬期休暇課題					
1・2月	○ 物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」	<ul style="list-style-type: none"> ・他の作品や絵との関係を踏まえながら， 作り物語の内容を的確に読み取る。 	○	○		9
	○ 古典基礎の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・「文法・語句ノート」 「句形・語彙ノート」小テスト 			○	3
	入試期間課題					
3月	【学年末考査】 「光源氏の誕生」， 冬期休暇課題， 入試期間課題， 「古文単語325」					1
	春季休暇課題					

※ 学習の状況により， 進度・内容等を変更することがあります。

国 語 科 3 年		論理国語		年間授業計画（シラバス）	
科目名	論理国語	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	精選論理国語		出版社 東京書籍		
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」（東京書籍），「新総合 図説国語」（東京書籍）， 「四訂版 プログレス 現代文総演習 標準編」（いっぴな書店）， 「必携 国語常識ベーシック」（数研出版）				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができるようにする。</p> <p>② 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> 一年間の見通しの下，学習目標を持つ。 「プロGRESS標準編」の取り組みについて説明する。 過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。 				1
	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】					2
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</div> 困難な時代に〈共同体〉 「社会の壊れるとき — 知性的であるとは — どういうことか」	<ul style="list-style-type: none"> 叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ，筆者の考えを理解する。 事例と引用に注意しながら論理の展開を捉え，知性的であることの必要性について読み取り，考える。 	○	○	○	6
4月度 課題						
5月連休課題					○	
【1学期中間考査】 「社会の壊れるとき」，4月度・5月連休課題						1
6	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</div> 近代という時代 〈環境〉 「環境問題と孤立した個人」	<ul style="list-style-type: none"> 近代を論じた評論を読み，現代の社会における自分の生き方について考える。 環境問題の根源に近代科学の自然観があることを論の展開に沿って読み取り，視野を広げる。 	○	○	○	10
	6月度課題				○	
7	【1学期期末考査】 「環境問題と孤立した個人」，6月度課題					1
8	夏期休暇課題				○	
8/22, 23 【日大チャレンジ模試】						1
9	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】	<ul style="list-style-type: none"> 過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。 	○	○	○	6
10	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</div> メディアを問い直す 〈情報〉 「おじいさんのランプ」	<ul style="list-style-type: none"> 現代の情報化社会を題材とする評論を読むことで視野を広げる。 情報化の進行により，人間と言葉との関係で起きている変化について読み取り，考える。 	○	○	○	6
11	「書物の近代」	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターが普及した現代にあって，書物を読むという行為が示唆するものについて読み取り，考える。 	○	○	○	5
12	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">言葉のトレーニング</div> （統計資料をもとに 考察する） 「地方都市を考える」	<ul style="list-style-type: none"> 本文と統計資料の関連性に注意しながら，筆者の主張を読み取る。 ワークシートを使いながら，理解し，考えを深める。 	○	○	○	5
	【2学期期末考査】 「おじいさんのランプ」，「書物の近代」，「地方都市を考える」					
☆問題演習		・演習問題に取り組む。	○	○	○	2

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

国語科 3年		論理国語		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	論理国語	対象	進学 (文系・理系) コース	単位数	2 単位
教科書	精選論理国語		出版社	東京書籍	
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」 (東京書籍) , 「新総合 図説国語」 (東京書籍) , 「四訂版 プロGRESS 現代文総演習 標準編」 (いっぴな書店) , 「必携 国語常識ベーシック」 (数研出版)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができるようにする。</p> <p>② 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> 一年間の見通しの下，学習目標を持つ。 「プロGRESS標準編」の取り組みについて説明する。 過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。 				1
	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】					2
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</div> 困難な時代に〈共同体〉 「社会の壊れるとき — 知性的であるとは — どういうことか」	<ul style="list-style-type: none"> 叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ，筆者の考えを理解する。 事例と引用に注意しながら論理の展開を捉え，知性的であることの必要性について読み取り，考える。 	○	○	○	6
4月度 課題						
5月連休課題				○		
【1学期中間考査】 「社会の壊れるとき」，4月度・5月連休課題						1
6	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</div> 近代という時代 〈環境〉 「環境問題と孤立した個人」	<ul style="list-style-type: none"> 近代を論じた評論を読み，現代の社会における自分の生き方について考える。 環境問題の根源に近代科学の自然観があることを論の展開に沿って読み取り，視野を広げる。 	○	○	○	10
	6月度課題			○		
7	【1学期期末考査】 「環境問題と孤立した個人」，6月度課題					1
8	夏期休暇課題				○	
	8/22, 23 【日大チャレンジ模試】					1
9	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】	<ul style="list-style-type: none"> 過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。 	○	○	○	6
10	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</div> メディアを問い直す 〈情報〉 「おじいさんのランプ」	<ul style="list-style-type: none"> 現代の情報化社会を題材とする評論を読むことで視野を広げる。 情報化の進行により，人間と言葉との関係で起きている変化について読み取り，考える。 	○	○	○	6
11	「書物の近代」	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターが普及した現代にあって，書物を読むという行為が示唆するものについて読み取り，考える。 	○	○	○	5
12	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">言葉のトレーニング</div> （統計資料をもとに 考察する） 「地方都市を考える」	<ul style="list-style-type: none"> 本文と統計資料の関連性に注意しながら，筆者の主張を読み取る。 ワークシートを使いながら，理解し，考えを深める。 	○	○	○	5
	【2学期期末考査】 「おじいさんのランプ」，「書物の近代」，「地方都市を考える」					
	☆問題演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	2

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

国 語 科 3 年		論理国語		年間授業計画（シラバス）	
科目名	論理国語	対象	特進（文系・理系）	コース	単位数 2 単位
教科書	精選論理国語		出版社 東京書籍		
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」（東京書籍），「新総合 図説国語」（東京書籍），「完成現代文3 大学入学共通テスト対策 改訂版」（尚文出版），「三訂新版 共通テスト対策 現代文完答22」（尚文出版），「共通テスト対策 新しい第3の現代文 集中完答11」（尚文出版），「品詞別 頻出漢字 マスター」（尚文出版）				

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができるようにする。
- ② 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	●ガイダンス ●予習復習体験学習 【基礎学力到達度テスト】	<ul style="list-style-type: none"> ・高校での学習や目標について理解する。 ・論理国語の予習復習について具体的に学習する。 ・「言語と記号」の予習をする。 			○	2
	1 言葉を再考する 「言語と記号」	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉について論じた評論を読み，自分の考えを深める。 ・論の展開を意識して主張を理解し，言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。 	○	○	○	9
5	5月連休課題				○	
	【1学期中間考査】 「言語と記号」					1
6	2 近代という時代 「鏡の中の現代社会」	<ul style="list-style-type: none"> ・近代を論じた評論を読み，現代の社会における自分の生き方について考える。 ・様々な異世界との比較を通して，自己の生きる世界を相対的に認識することの意義を理解する。 	○	○	○	8
	言葉のトレーニング 「『ヘビにこらまれたカエル』の生き残り戦略」	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の解説記事を読み，考える力を身につける。 ・文章を読んでまとめる力を身につける。 	○	○	○	3
7	6月提出課題				○	
	【1学期期末考査】 「鏡の中の現代社会」					1
8	夏期休暇課題				○	
	【日大チャレンジ模試】					1
9	基礎学力到達度テスト 問題演習 【基礎学力到達度テスト】		○	○	○	2
10	5 困難な時代に 「社会の壊れるとき —知性的であるとは —どういうことか」	<ul style="list-style-type: none"> ・叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ，筆者の考えを理解する。 ・事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え，知性の意義について自分の考えを深める。 	○	○	○	7
	4 他者のいる思考 「原始社会像の真実」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の述べる考察を論理的に理解し，物事の捉え方の幅を広げる。 ・時間的に異なる世界を題材とした評論を読み，社会の変遷を捉える見方を身につける。 	○	○	○	5
	10月提出課題				○	
	【2学期中間考査】 「社会の壊れるとき」，「原始社会像の真実」					1

11	6 自己と社会 「抗争する人間」	<ul style="list-style-type: none"> ・社会構造を分析する評論を読み，その内容を的確に把握する。 ・人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し，人間に対する理解を深める。 	○	○	○	10
	☆共通テスト対策演習		○	○	○	5
12	【2学期期末考査】 「抗争する人間」					1
	☆共通テスト対策演習		○	○	○	特別 時間割

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

国 語 科 3 年		文学国語		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	文学国語	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍				
副教材	「文学国語 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「四訂版 プロGRESS 現代文総演習 標準編」(いっぴな書店), 「必携 国語常識ベーシック」(数研出版)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス	・一年間の見通しの下，学習目標を持つ。			○	1
	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・「プログレス標準編」の取り組みについて説明する。 ・過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。	○	○	○	2
	3 詩歌 「平気—正岡子規」	・俳句に関する評論を読み，詩歌の表現の特色を理解して味わう。 ・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え，人間と文学の関係について考える。	○	○	○	6
	☆ 問題演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	2
	4月度 課題					
	5月連休課題			○		
	【1学期中間考査】 「平気—正岡子規」，4月度・5月連休課題					1
6	2 小説1 「檸檬」	・小説における場面の描写を表現に即して捉え，そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動，心理を表現に即して読み取り，「檸檬」の持つ意味について考える。	○	○	○	7
	☆問題演習	・演習問題に取り組む。				3
	6月度課題				○	
7	【1学期期末考査】 「檸檬」，6月度課題					1
	夏期休暇課題				○	
8	8/22, 23 【日大チャレンジ模試】					1
9	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。	○	○	○	6
10	I 8 小説4 「鞆」	・物語の展開や状況の変化に注意して小説を読み，現代の社会や自らの生活を捉え直す。 ・超現実的な手法で描かれた現代人のありようや置かれた状況を読み，鞆が象徴するものについて考える。 ・『鞆』や安部公房の他の作品に関連付けたものを調べ，味わい，理解を深める。	○	○	○	8
	I 8 小説4 「あの朝」	・物語の展開や状況の変化に注意して小説を読み，現代の社会や自らの生活を捉え直す。 ・日常の出来事における心情の機微，時間や環境の変化に伴う登場人物の見方や考え方の動きを読み取る。 ・自分の「なくすことで好きになったあれこれ」についてまとめ，発表する。	○	○	○	8
12	【2学期期末考査】 「鞆」「あの朝」，国語常識ベーシック（1冊）					1
	☆問題演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	1

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

国 語 科 3 年		文学国語		年間授業計画（シラバス）	
科目名	文学国語	対象	進学（文系）	コース	単位数 2 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍				
副教材	「文学国語 学習課題ノート」（東京書籍），「新総合 図説国語」（東京書籍）， 「四訂版 プロGRESS 現代文総演習 標準編」（いっぴな書店）， 「必携 国語常識ベーシック」（数研出版）				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%，思考・判断・表現 35%，主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス	・一年間の見通しの下，学習目標を持つ。			○	1
	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・「プロGRESS標準編」の取り組みについて説明する。 ・過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。	○	○	○	2
	3 詩歌 「平気—正岡子規」	・俳句に関する評論を読み，詩歌の表現の特色を理解して味わう。 ・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え，人間と文学の関係について考える。	○	○	○	6
	☆ 問題演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	2
	4月度 課題					
	5月連休課題			○		
	【1学期中間考査】 「平気—正岡子規」，4月度・5月連休課題					1
6	2 小説1 「檸檬」	・小説における場面の描写を表現に即して捉え，そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動，心理を表現に即して読み取り，「檸檬」の持つ意味について考える。	○	○	○	7
	☆問題演習	・演習問題に取り組む。				3
	6月度課題			○		
7	【1学期期末考査】 「檸檬」，6月度課題					1
	夏期休暇課題			○		
8	8/22, 23 【日大チャレンジ模試】					1
9	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。	○	○	○	6
10	I 8 小説4 「鞆」	・物語の展開や状況の変化に注意して小説を読み，現代の社会や自らの生活を捉え直す。 ・超現実的な手法で描かれた現代人のありようや置かれた状況を読み，鞆が象徴するものについて考える。 ・『鞆』や安部公房の他の作品に関連付けたものを調べ，味わい，理解を深める。	○	○	○	8
	I 8 小説4 「あの朝」	・物語の展開や状況の変化に注意して小説を読み，現代の社会や自らの生活を捉え直す。 ・日常の出来事における心情の機微，時間や環境の変化に伴う登場人物の見方や考え方の動きを読み取る。 ・自分の「なくすことで好きになったあれこれ」についてまとめ，発表する。	○	○	○	8
12	【2学期期末考査】 「鞆」「あの朝」，国語常識ベーシック（1冊）					1
	☆問題演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	1

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

国 語 科 3 年		文学国語		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	文学国語	対象	進学 (理系)	コース	単位数 1 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍				
副教材	「文学国語 学習課題ノート」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「四訂版 プロGRESS 現代文総演習 標準編」 (いっぴな書店), 「必携 国語常識ベーシック」 (数研出版)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の見通しの下，学習目標を持つ。 ・「プロGRESS標準編」の取り組みについて説明する。 ・過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。 			○	1
	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】					1
	3 詩歌 「平気—正岡子規」	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句に関する評論を読み，詩歌の表現の特色を理解して味わう。 ・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え，人間と文学の関係について考える。 	○	○	○	5
	4月度課題 5月連休課題				○	
	【1学期中間考査】 「平気—正岡子規」，4月度・5月連休課題					1
6	2 小説1 「檸檬」	<ul style="list-style-type: none"> ・小説における場面の描写を表現に即して捉え，そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動，心理を表現に即して読み取り，「檸檬」の持つ意味について考える。 	○	○	○	6
	6月度課題				○	
7	【1学期期末考査】 「檸檬」，6月度課題					1
	夏期休暇課題				○	
8	8/22, 23 【日大チャレンジ模試】					1
9	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。 	○	○	○	3
10	I 8 小説4 「鞆」	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の展開や状況の変化に注意して小説を読み，現代の社会や自らの生活を捉え直す。 ・超現実的な手法で描かれた現代人のありようや置かれた状況を読み，鞆が象徴するものについて考える。 	○	○	○	5
	I 8 小説4 「あの朝」	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の展開や状況の変化に注意して小説を読み，現代の社会や自らの生活を捉え直す。 ・日常の出来事における心情の機微，時間や環境の変化に伴う登場人物の見方や考え方の動きを読み取る。 	○	○	○	5
12	【2学期期末考査】 「鞆」「あの朝」，国語常識ベーシック（1冊）					1
	☆問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・演習問題に取り組む。 	○	○	○	1

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

国語科 3年		文学国語		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	文学国語	対象	特進 (文系・理系) コース	単位数	2 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍				
副教材	「文学国語 学習課題ノート」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「完成現代文3 大学入学共通テスト対策 改訂版」 (尚文出版), 「三訂新版 共通テスト対策 現代文完答22」 (尚文出版), 「共通テスト対策 新しい第3の現代文 集中完答11」 (尚文出版), 「品詞別 頻出漢字マスター」 (尚文出版)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	●ガイダンス ●予習復習体験学習 【基礎学力到達度テスト】	・高校での学習や目標について理解する。 ・文学国語の予習復習について具体的に学習する。 ・「平気—正岡子規」の予習をする。			○	2
	③詩歌 「平気—正岡子規」	・俳句に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。 ・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係について考える。	○	○	○	9
5	5月連休課題				○	
	【1学期中間考査】 「平気—正岡子規」					1
6	②小説1 「檸檬」	・小説における場面の描写を表現に即して捉え、そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動、心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。	○	○	○	11
	6月提出課題				○	
7	【1学期期末考査】 「檸檬」					1
	夏期休暇課題				○	
8	【日大チャレンジ模試】					1
9	基礎学力到達度テスト 問題演習 【基礎学力到達度テスト】		○	○	○	2
10	⑧小説3 「蠅」	・多様な表現方法を用いて書かれた小説を読み、作品世界を味わう。 ・視点の移動に注意しながら、描かれた場面や状況を読み取り、作品の主題について考える。	○	○	○	8
	②小説1 「コンビニの母」	・小説における場面の描写を表現に即して捉え、そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動、心理を表現に即して読み取り、現代社会における人間関係について考える。	○	○	○	4
	10月提出課題				○	
	【2学期中間考査】 「蠅」，「コンビニの母」					1
11	④随筆2 「クレールという女」	・随筆を読んで優れた表現や叙述の仕方を理解し、感性や心情を豊かにする。 ・長い時間をかけて深まっていた筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考える。	○	○	○	8

12	1 随筆1 「国語から旅立って」	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで筆者の経験や思いを捉え、言葉と自分との関わりについて考える。 ・筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。 	○	○	○	4
	☆共通テスト対策演習		○	○	○	3
	【2学期期末考査】 「クレールという女」, 「国語から旅立って」					1
	☆共通テスト対策演習		○	○	○	特別 時間割

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国 語 科 3 年		古典探究		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	古典探究	対象	スポーツ	コース	単位数 3 単位
教科書	精選古典探究 (古文編・漢文編)			出版社	東京書籍
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」 (東京書籍), 「精選古典探究 学習課題ノート 漢文編」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「新・要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「四訂版 プロGRESS古典総演習 標準編」 (いっぴな書店)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使おうとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばそうとし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元 (●古文 ○漢文)	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の見通しの下，学習目標を持つ。 ・「プログレス標準編」の取り組みについて説明する。 ・過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。 				1
	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】		○	○	○	2
	② 日記2 紫式部日記 「日本紀の御局」	<ul style="list-style-type: none"> ・予習の点検をしつつ，学習ポイントの確認。 ・女性の学才について理解し，左衛門の内侍との関係を通し，作者の漢学に対する考え・思いを読み取る。 	○	○		6
	5月連休課題				○	
	I部⑦ 思想2 道家 荘子「曳尾於塗中」	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを確認しつつ，正確に書き下し・現代語訳をしながら，荘子の価値観を理解する。 	○	○	○	3
【1学期中間考査】 「日本紀の御局」，「曳尾於塗中」， 「古文単語」，5月連休課題 ①					1	
6	③ 作り物語2 源氏物語 「萩の上露」	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語に注意しながら本文を理解し，和歌を踏まえた三者の気持ちを読み取る。 ・「若紫」巻での出会いから「御法」巻での別れまで，紫上の生涯を振り返りつつ，源氏物語の理解を深める。 	○	○	○	6
	④ 歴史物語2 大鏡 「道長，伊周の競射」	<ul style="list-style-type: none"> ・道長と伊周の関係を踏まえつつ，敬語に注意しながら本文を理解し，それぞれの人物像を読み取る。 ・道隆の，勝負の延長を求めた意図や勝負の結果を受けた時の心境などを読み取る。 	○	○	○	4
	② 詩3 李白と杜甫 「絶句」 「送友人」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の形式，押韻，対句などを確認しつつ，詩に描かれた景色や心情を正確に読み取り，味わう。 ・李白とともに杜甫にも興味を持ち，二人の詩の特徴や評価を比較検討する。 	○	○	○	3
	5～6月課題				○	
7	【1学期期末考査】 「萩の上露」，「道長，伊周の競射」，「絶句」，「送友人」 「古文単語」，5～6月課題					1
夏期休暇課題				○		
8	8/22, 23 【日大チャレンジ模試】					1

9	到達度テスト問題演習	・時間配分を意識しながら取り組む。	○	○	○	8
	【基礎学力到達度テスト】					1
10	⑤ 小説2 桃花源記（陶淵明集）	・段落構成を踏まえつつ内容や展開を読み取り，味わう。 ・陶潜の描く理想郷に対する考え方を老子の「小国寡民」にも触れつつ理解を深める。	○	○	○	5
	⑧ 上代の文学 「万葉秀歌」3首 I ⑨ 詩歌 八代集の世界 「古今和歌集」3首 「新古今和歌集」3首	・万葉，古今，新古今それぞれの句切れや修辭技巧などの特徴を踏まえて，描かれた世界や心情を読み取る。 ・三大集の文学史的な位置づけを現代にもつなげながら理解する。 ・余裕があれば，他の秀歌にも触れ，興味を深める。	○	○	○	5
11	⑥ 思想3 諸子百家 「侵官之害」（韓非子）	・本文を正確に読解し，内容を理解する。 ・本文で説かれた「明主」のあり方を読み取り，法家的な政治に対する考え方を理解する。	○	○	○	4
	② 日記2 和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中を」	・背景を踏まえ本文と贈答歌に込めた心情を読みとる。 ・敬語等の文法事項，花橘の意味を理解する。 ・音読を通して，流麗な文体を味わう。	○	○	○	6
12	【2学期期末考査】 三大集，和泉式部日記，桃花源記，侵官之害					1
	☆問題演習	・古典常識や文学史も知識を確認する。	○	○	○	4

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

国 語 科 3 年		古典探究		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	古典探究	対象	進学 (文系)	コース	単位数 4 単位
教科書	精選古典探究 (古文編・漢文編)		出版社 東京書籍		
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」 (東京書籍), 「精選古典探究 学習課題ノート 漢文編」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「新・要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順入試対策 ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「四訂版 プロGRESS古典総演習 標準編」 (いっずな書店)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使おうとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばそうとし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a (知識・技能)，b (思考・判断・表現)，c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学 習 単 元 (●古文 ○漢文)	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数	
			a	b	c		
4	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> 一年間の見通しの下，学習目標を持つ。 「古文単語 325」「プログレス標準編」の取り組みについて説明する。 過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。 				1	
	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】		○	○	○	2	
	② 日記2 紫式部日記 「日本紀の御局」	<ul style="list-style-type: none"> 予習の点検をしつつ，学習ポイントの確認。 女性の学才について理解し，左衛門の内侍との関係を通し，作者の漢学に対する考え・思いを読み取る。 	○	○		6	
	5月連休課題				○		
	I部⑦ 思想2 道家 莊子「曳尾於塗中」	<ul style="list-style-type: none"> ポイントを確認しつつ，正確に書き下し・現代語訳をしながら，莊子の価値観を理解する。 	○	○	○	3	
	☆問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 演習問題に取り組む。 	○	○	○	4	
	【1学期中間考査】 「日本紀の御局」，「曳尾於塗中」， 「古文単語 325 第1章」(P.30～98)，5月連休課題 ①					1	
	6	③ 作り物語2 源氏物語 「萩の上露」	<ul style="list-style-type: none"> 敬語に注意しながら本文を理解し，和歌を踏まえた三者の気持ちを読み取る。 「若紫」巻での出会いから「御法」巻での別れまで，紫上の生涯を振り返りつつ，源氏物語の理解を深める。 	○	○	○	6
		④ 歴史物語2 大鏡 「道長，伊周の競射」	<ul style="list-style-type: none"> 道長と伊周の関係を踏まえつつ，敬語に注意しながら本文を理解し，それぞれの人物像を読み取る。 道隆の，勝負の延長を求めた意図や勝負の結果を受けた時の心境などを読み取る。 	○	○	○	4
		② 詩3 李白と杜甫 「絶句」「送友人」	<ul style="list-style-type: none"> 詩の形式，押韻，対句などを確認しつつ，詩に描かれた景色や心情を正確に読み取り，味わう。 李白とともに杜甫にも興味を持ち，二人の詩の特徴や評価を比較検討する。 	○	○	○	3
☆問題演習		<ul style="list-style-type: none"> 演習問題に取り組む。 	○	○	○	5	
5～6月課題				○			
7	【1学期期末考査】 「萩の上露」，「道長，伊周の競射」，「絶句」，「送友人」 「古文単語 325 第2章」(P.100～190)，5～6月課題					1	
	夏期休暇課題				○		
8	8/22, 23 【日大チャレンジ模試】					1	

9	到達度テスト問題演習	・時間配分を意識しながら取り組む。	○	○	○	8
	【基礎学力到達度テスト】					1
	⑤ 小説2 桃花源記（陶淵明集）	・段落構成を踏まえつつ内容や展開を読み取り，味わう。 ・陶潜の描く理想郷に対する考え方を老子の「小国寡民」にも触れつつ理解を深める。	○	○	○	5
10	⑧ 上代の文学 「万葉秀歌」3首	・万葉，古今，新古今それぞれの句切れや修辞技巧などの特徴を踏まえて，描かれた世界や心情を読み取る。	○	○	○	5
	I ⑨ 詩歌 八代集の世界 「古今和歌集」3首	・三大集の文学史的な位置づけを現代にもつなげながら理解する。				
11	「新古今和歌集」3首	・余裕があれば，他の秀歌にも触れ，興味を深める。				
	⑥ 思想3 諸子百家 「侵官之害」（韓非子）	・本文を正確に読解し，内容を理解する。 ・本文で説かれた「明主」のあり方を読み取り，法家的な政治に対する考え方を理解する。	○	○	○	4
	② 日記2 和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中を」	・背景を踏まえ本文と贈答歌に込めた心情を読みとる。 ・敬語等の文法事項，花橘の意味を理解する。 ・音読を通して，流麗な文体を味わう。	○	○	○	6
	☆問題演習 等	・演習問題等に取り組む。	○	○	○	6
12	【2学期期末考査】 三大集，和泉式部日記，桃花源記，侵官之害					1
	☆問題演習	・古典常識や文学史も知識を確認する。	○	○	○	4

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

国 語 科 3 年		古典探究		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	古典探究	対象	進学 (理系)	コース	単位数 3 単位
教科書	精選古典探究 (古文編・漢文編)		出版社 東京書籍		
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」 (東京書籍), 「精選古典探究 学習課題ノート 漢文編」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「新・要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順入試対策 ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「四訂版 プロGRESS古典総演習 標準編」 (いっずな書店)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使おうとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばそうとし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元 (●古文 ○漢文)	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイドンス	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の見通しの下，学習目標を持つ。 ・「古文単語325」「プログレス標準編」の取り組みについて説明する。 ・過去問題などを使用し，到達度テスト対策を行う。 				1
	到達度テスト問題演習 【基礎学力到達度テスト】		○	○	○	2
5	② 日記2 紫式部日記 「日本紀の御局」	<ul style="list-style-type: none"> ・予習の点検をしつつ，学習ポイントの確認。 ・女性の学才について理解し，左衛門の内侍との関係を通し，作者の漢学に対する考え・思いを読み取る。 	○	○		6
	5月連休課題				○	
	I部⑦ 思想2 道家 莊子「曳尾於塗中」	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを確認しつつ，正確に書き下し・現代語訳をしながら，莊子の価値観を理解する。 	○	○	○	3
	【1学期中間考査】 「日本紀の御局」，「曳尾於塗中」， 「古文単語325 第1章」(P.30～98)，5月連休課題①					1
6	③ 作り物語2 源氏物語 「萩の上露」	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語に注意しながら本文を理解し，和歌を踏まえた三者の気持ちを読み取る。 ・「若紫」巻での出会いから「御法」巻での別れまで，紫上の生涯を振り返りつつ，源氏物語の理解を深める。 	○	○	○	6
	④ 歴史物語2 大鏡 「道長，伊周の競射」	<ul style="list-style-type: none"> ・道長と伊周の関係を踏まえつつ，敬語に注意しながら本文を理解し，それぞれの人物像を読み取る。 ・道隆の，勝負の延長を求めた意図や勝負の結果を受けた時の心境などを読み取る。 	○	○	○	4
	② 詩3 李白と杜甫 「絶句」「送友人」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の形式，押韻，対句などを確認しつつ，詩に描かれた景色や心情を正確に読み取り，味わう。 ・李白とともに杜甫にも興味を持ち，二人の詩の特徴や評価を比較検討する。 	○	○	○	3
	5～6月課題				○	
7	【1学期期末考査】 「萩の上露」，「道長，伊周の競射」，「絶句」，「送友人」 「古文単語325 第2章」(P.100～190)，5～6月課題					1
	夏期休暇課題				○	
8	8/22, 23 【日大チャレンジ模試】					1

9	到達度テスト問題演習	・時間配分を意識しながら取り組む。	○	○	○	8
	【基礎学力到達度テスト】					1
10	⑤ 小説2 桃花源記（陶淵明集）	・段落構成を踏まえつつ内容や展開を読み取り，味わう。 ・陶潜の描く理想郷に対する考え方を老子の「小国寡民」にも触れつつ理解を深める。	○	○	○	5
	⑧ 上代の文学 「万葉秀歌」3首 I ⑨ 詩歌 八代集の世界 「古今和歌集」3首 「新古今和歌集」3首	・万葉，古今，新古今それぞれの句切れや修辭技巧などの特徴を踏まえて，描かれた世界や心情を読み取る。 ・三大集の文学史的な位置づけを現代にもつなげながら理解する。 ・余裕があれば，他の秀歌にも触れ，興味を深める。	○	○	○	5
11	⑥ 思想3 諸子百家 「侵官之害」（韓非子）	・本文を正確に読解し，内容を理解する。 ・本文で説かれた「明主」のあり方を読み取り，法家的な政治に対する考え方を理解する。	○	○	○	4
	② 日記2 和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中を」	・背景を踏まえ本文と贈答歌に込めた心情を読みとる。 ・敬語等の文法事項，花橘の意味を理解する。 ・音読を通して，流麗な文体を味わう。	○	○	○	6
12	【2学期期末考査】 三大集，和泉式部日記，桃花源記，侵官之害					1
	☆問題演習	・古典常識や文学史も知識を確認する。	○	○	○	4

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

国 語 科 3 年		古典探究		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	古典探究	対象	特進 (文系・理系) コース	単位数	3 単位
教科書	精選古典探究 (古文編・漢文編)		出版社 東京書籍		
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」 (東京書籍), 「精選古典探究 学習課題ノート 漢文編」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「新・要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順 入試対策ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」 (数研出版), 「改訂版 プロGRESS 古典総演習 発展編」 (いっぴな書店), 「三訂新版 共通テスト対策 古典完答 22」 (尚文出版)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

① 評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使おうとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばそうとし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

② 成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

	学 習 単 元 (●古文 ◇漢文)	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4 月	ガイダンス 予習復習体験学習	・高校での学習や目標について理解する。 ・古典探究の予習復習について具体的に学習する。			○	1
	【基礎学力到達度テスト】	・過去問等を利用し、到達度テスト対策を行う。				1
	●2日記2 紫式部 「日本紀の御局」	・日記を読み、その作品の内容や特色について理解する。 ・日記を多面的、多角的な視点から捉え、考えを深める。	○	○	○	5
5 月	◇6思想3 諸子百家 「侵官之害」(『韓非子』)	・諸子百家の文章を読み、政治を巡る思想を読み取る。 ・諸子百家の思想を知り、ものの見方、考え方を豊かにする。	○	○	○	4
	●2日記2 和泉式部日記 「夢よりもはかなき世の中を」	・日記を多面的、多角的な視点から捉え、考えを深める。 ・背景を踏まえ、和歌に込められた作者の心情を読み取る。	○	○	○	5
6 月	【1学期中間考査】 「日本紀の御局」、「夢よりもはかなき世の中を」、「侵官之害」、 「古文単語 325」、5月連休課題					1
	◇5小説2 小説一二編 「桃花源記」	・小説に書かれた人々の思想や感情を捉え、ものの見方、感じ方を豊かにする。 ・話の展開を捉え、そこに描かれている世界を読み味わう。	○	○	○	6
	●5評論 無名抄 「おもて歌のこと」	・和歌についての評論を読み、論旨を的確に捉える。 ・評論に表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえて、考えを深める。	○	○	○	5
7 月	●6作り物語3 落窪物語「姫君の苦難」	・設定や構成などに着目しながら、作り物語の内容を的確に捉える。 ・作り物語を読み、考えを広げる。	○	○	○	5
	【1学期期末考査】 「おもて歌のこと」、「姫君の苦難」、「桃花源記」、 「古文単語 325」、6月提出課題					1
8 月	【日大チャレンジ模試】					1
9 月	基礎学力到達度テスト 問題演習		○	○	○	3
	【基礎学力到達度テスト】					
10 月	●3作り物語2 源氏物語(二) 「萩の上露」(御法)	・作り物語を多面的、多角的な視点から読み、考えを深める。 ・設定などに着目しながら登場人物の心情を捉え、作品についての理解を深める。	○	○	○	8
	◇7文2 唐宋八大家の文章 「捕蛇者説」(柳宗元)	・筆者の主張を的確に捉え、ものの見方、考え方を豊かにする。 ・筆者の価値観や問題意識について考察を深める。	○	○	○	8

		・当時の社会背景に注意して，読み味わう。				
	【2学期中間考査】	「萩の上露」，「捕蛇者説」， 「古文単語 325」，10月提出課題				1
11 月	●7 俳諧 「去来抄」(向井去来)	・俳論を読み，内容を的確に捉える。 ・俳諧を多面的，多角的な視点から捉え，言語文化につい ての理解を深める。	○	○	○	6
	☆共通テスト対策演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	12
12 月	【2学期期末考査】	「去来抄」，演習問題，「古文単語 325」				1
	☆共通テスト対策演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	特別 時間割

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。